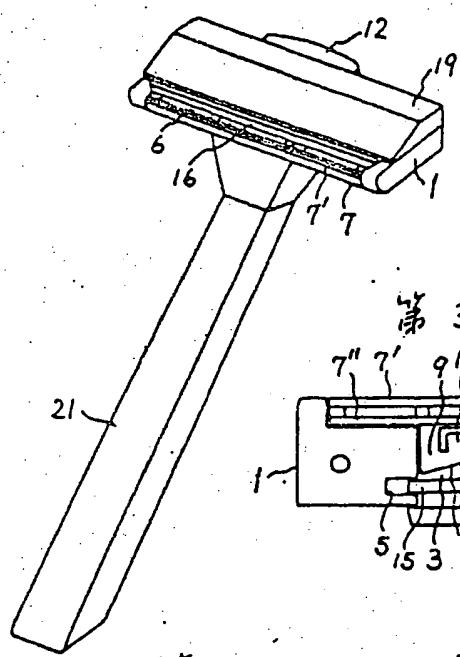
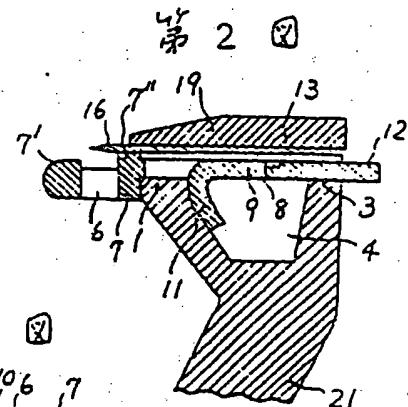


実用 昭54-13784(2)

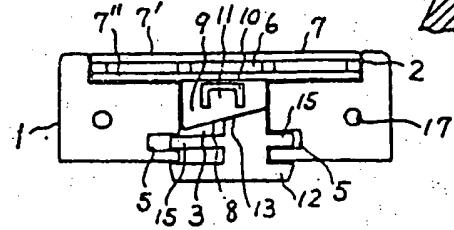
第1図



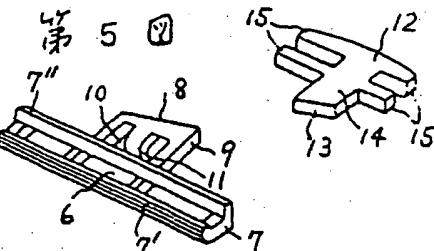
第2図



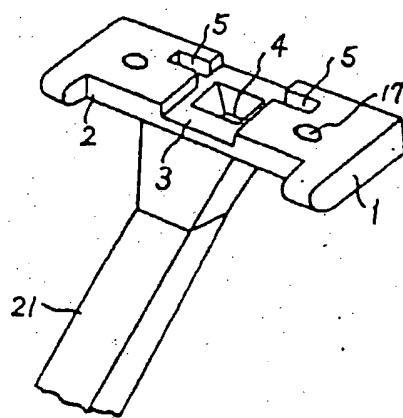
第3図



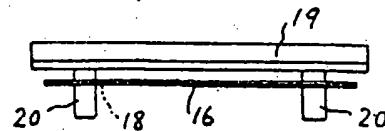
第6図



第4図



第7図



19日本国特許庁
公開実用新案公報

且実用新案出願公開

昭54-13784

Int. Cl. 2
25 B 21.16

識別記号 6日本分類 厅内整理番号
125 G 22 7041-3C

我公開 昭和54年(1979)1月29日

審查請求 有

(全 2 頁)

二十一
卷之三

頸頸者素昭52-87201
昭52(1977)6月30日
新種違也

関西千年町2丁目5番地

三出 願人 株式会社貝印刀物センター

閑而千年町2丁目5番地

古代理人弁理士 石田晋一

支那の歴史と文化の記録

刃台部1の前後端に切欠部2を形成し且つ中央孔に前後端コした切欠溝3を形成して該切欠溝3内に嵌入凹孔4を穿設し且つ切欠溝3内の後部両側に武溝部5, 5を形成し、かす取り孔6を有する調節板7の後部中央に斜状後端面8を複数個突起9を設設し該突起9の割込み10内に下向きの握力溝面11を設けて、調節板7を切欠部2内に嵌入し且つ握力突起9を切欠溝3内に嵌入し溝部11を凹孔4内に嵌入して調節板7を後方引絞り状態で刃台部1に接着し、別体の操作部12に操作部端面13を有する作動部14を突設してその途中前側に操作部端面15, 15を設け、該操作部15, 15を武溝部5, 5内に嵌入し斜状前端面13を斜状後端面8に当接せしめて操作部12を中空切欠部3内から後方に突出状態に接着し、

刃体16を調節板7と刃台部1上に通孔17,18を合致させてセットし刃押え板19の突起20,21を合致孔に挿入して刃体を夾音固定して完成する。T型カミソリ。

図面の記号と記述

第1図は全体の斜面図、第2図は長部の中央底断面図、第3図は万体セット剤の長部の平面図、第4図は万台配の斜面図、第5図は調節板の斜面図、第6図は操作板の斜面図、第7図は万体に取付けた回轉支板の正面図である。

主要符号、1は刃台部、2は切欠部、3は刃欠部、4は嵌入凹孔、5は嵌挿部、6はかす取り孔、7は調節板、8は斜状後端面、9は活動天板、11は弾力板底、12は操作板、13は刃欠削端面、14は作動板、15は横面部、16は刃本、19は刃押え板である。